



鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成27年12月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



《妹肖像》

1925年制作

旧制青森中学在学中

なにを描くか

私には十も歳の離れた妹がいる。私と彼女との間に他に兄弟は無く、長く一人っ子が当たり前だった私にとって、突然の妹の誕生は、その実感を得るのに少々時間を必要としたように思う。生まれた時の漠然とした喜びは、共に時間を過ごすことで徐々に私自身の人生の出来事として受け入れられていった。様々な場面で幼い妹を見つめるとき、ふと、兄としての自覚を考えたときがあった。それまでは守られる存在としてしか考えていなかった自分自身を、初めて、そうではない立場に立つて考えなくてはいけなくなった瞬間でもあった。私が《妹肖像》をみて、いつも思い出されることである。

《妹肖像》は、現在開催中のシリーズ常設展『再考鷹山宇一② 7人の鷹山宇一』でご覧いただける。本展は、稀代の幻想画家として名を馳せた鷹山の、そこに至るまでの表現試行を新たに7つのキーワードに分類し紹介している。それはまるで7人の作家がいるかのように多様で興味深い。本展において、若い時代から様々な人物像を描いてきた鷹山の特徴的な作品を「人物」セクションでまとめた中でも、本作は、モチーフと作家の視点がとても明快である。若き鷹山の興味が当時スタンダードであった、「見たままの美しさを描くこと」から、その向こうにあるいわば「対象物との関係性の中の美を描くこと」へと意向しつつあることを示す作品の一つと言えるだろう。この後、鷹山は心象風景を捉えるフォービスム的手法に傾倒する。

鷹山は他にも、様々な切り口による人物表現を試みており、本展ではその一部を解説とともに展覧している。鷹山の多様な魅力をぜひ体験していただきたい。1月17日まで。

(学芸員 清水輝大)

平成27年度第2回研修旅行
「加賀会席と金沢二十一日
紀美術鑑賞の旅」(11月17
日・19日・15名参加)の紀
行文・集合写真等をお寄せいた
だいたので2頁、7頁にご紹介
いたします。

迎える金沢

弘前市 中村昭雄

それは「二日間」、たったの二日間だけだったので。常識から逸脱した年齢から来る認識の衰えか。新青森駅での新幹線への乗り継ぎ時間なので、読みながら誰もが思ったはずです。「乗り遅れたな」と、その通り、パンクの二人。添乗員の小笠原様に連絡、追っかけ来



いよいよ金沢 21世紀美術館へ

れるから車へ、何とまで切符の手配。互いに目で合図。すぐさま切符の手配。だが、全て指定席のはず、やむを得ず、グリーン車も、駅員が我々の顔を覗きながらクラスは有るよと、大臣クラスの高級車だ。「エイ買っちゃええ、大宮からは普通指定席が買えた。申し訳なきで一杯。遅れる事一時間半。金沢の駅を出る。途端、大な空間、簡素ではあるが圧倒されるような構造体、駅前通路の屋根なのだ。「美しい」、また通路正面にんと構えられた、角材を振った様な斬新な形状、それぞれ蛇の目傘と鼓をイメージしたとかタクシーの運転手さんが教えてくれた。スパライ、感嘆。金沢市立安江金箔工芸館で皆様に合流。暖かい眼差し。ハンマーによる手打ちと機械打ちで一万分の一ミリまでに薄くするという。その技に感服させられる。

芸術は大方理解に苦しむ作品が多いようだ。二十一世紀美術館の作品がまさにそれに当てはまる。ついでに行かない。弘前と金沢の対比。てしまうがどちらも歴史のある城下町である。金沢城・復元建造物ではあるが木屋敷などにも使用されている。五十間長屋を見応え十分。屋根瓦は鉛で鉄砲の玉にも応用出来る様にしたりらしい。雪崩りも初めだが円錐形に張る荒瀬の調和のとれた様、職人たちの苦勞が察せられる。人口四十八万人とは思えないそれ以上の活気のある金沢市であった。ホテルといい、加賀会席の夕食といい、いすもながら個人では味わえない魅力がふんだんに盛り込まれている旅行だ。先に述べた二日間だが今もつてどうしてその時間帯にしたのか、摩訶不思議

議な気持ちが消えない。
外国にこういう題名の映画があった。
「天使のくられた時間」
三時間半ではあったが。

旅は道づれ

十和田市 下山恭美子

何度か訪れたことのある金沢でしたが、北陸新幹線ができて利便性が高まったこと、そして何よりまだ食したことがない、加賀会席をいただくことができるという売りの研修旅行の案内に「冥土の土産に一度は……」とあつて申し込んでしまいました。

さすが、「鷹山宇一記念美術館友の会の研修旅行」と銘打つたことにはあり、添乗員の他、タクシーやガイド付きの貸切バスでの移動、金沢城や兼六園、武家屋敷などなどの見学場所にはま



金沢市 金城樓」にて加賀会席を堪能

いどさんといわれる専門のボランティアガイドさんの案内で、歴史的な背景や土地の裏話を含め、城下町のたまたまの残る雰囲気や興味深く詳しく、また、楽しい見学することができました。

「金沢二十一日紀美術鑑賞」は改修展示替等で閉鎖中の展示室があり、以前訪れた時より感動が少なく、期待外れ！：早くに退館し、フリータイムを利用して近くの石川県立美術館に行きました。この選択がホトトにラッキー！：野々村仁清作「国宝・色絵輪香炉(雄)と共に重要な文化財である雄の特別展示を鑑賞できたことです。江戸時代の作でありながら鮮やかな色合い、輝き、教科書や美術書でしか見られなかった名品との素晴らしい出会いに感動しました。また、「金沢巧味クレープ」を利用しての金箔貼りも初体験で貴重な旅の記念品となりました。

そしていよいよ、料亭・金城樓での加賀会席の夕食です。金沢の迎賓館として百一十五年間君臨してきたという日本建築や庭園のたまたまを誇りとしていたその玄関の金屏風の前に、ズラリとおそろいの着物のスタッフのお出迎えをいただいた二日間、私たちが特別献立表に従い十品目三十五種類のお料理にいちいち感動しながらお勧めの地酒も進み大満足のとときでした。

「旅は道づれ……」知識豊富な奥山団長を先頭に楽しい友の会の仲間達で過ごした二泊三日の旅は、有意義で中身の濃い、語り始めると止まらないうつ！。もう私は二度と金沢を訪れる事はないでしょう。
(これ以上充実した金沢の旅はないと思うから……)

(写真7頁掲載)



鷹山美術館秋の特別常設展「レゼプター オブ しろのへ」 鷹山宇一と石井キクが終了いたしました。会期中は二十人もの皆様にご観覧頂き、様々な嬉しいお声を頂戴いたしましたので、ここにその一部をご紹介します。

○ 菱刺しにはいろいろな基本となる型があることを知りました。とても美しく、デザイン的で、すばらしいと感じました。このような美を、また七戸町の方を伝えてくださり、とても嬉しく思います。(40代女性、七戸町)

○ 結婚式のためまたま寄った美術館ですが、近代的な絵、色彩、気に入りました。石井キクさんの刺し子も年を感じずきれいな色、型の配置、完璧で感動しました。(60代女性、山形市)

○ 展示および館内の雰囲気素晴らしかったです。(20代女性、十和田市)

○ 鷹山美術館なのにこの美術館で鷹山



宇一の作品を実は見たことがなかったのが良かった。石井キクは数学的で理系な感じ。頭の良さが伝わる。頭の中はどうなっているのかと思っ。華陽の馬への愛も良い。吉田初三郎はすごい。最近はおもしろい企画でわかりやすく、興味深い。ありがたうございます。(30代女性、弘前市)

○ お年寄りとききましたが、石井氏の古い写真や風景になつかしがつており、とても身近なものとして鑑賞できました。(30代女性、十和田市)

○ 感銘しました。手作業から作り出される素晴らしい図に圧倒されました。継承されることを望みます。(70代男性、十和田市)

○ 多田さんの作品展も拝見しており、地域の人材を掘り起こす絶好のチャンス！ぜひ継続していただきたい！このような美術館が近くにあってよかったですと思います。(70代女性、六戸町)



鷹山宇一記念美術館では、こともた

ちとの楽しい活動をサポーターして下さるボランティアを募集して下さいます。ボランティアの知識や経験なんて全く不問。こともたと一緒に楽しみ、時には一緒に悩んでくれる方を募集しています。現在、七戸町内や近隣地域から、下は中学生から上は70代の方まで登録いただいています。いつも、お菓子をかこみながらワイワイ楽しく活動しています。

ありがたいことに、『タカビキッズあそぶ』への参加者が爆発的に増えてきており、サポーターさんの数が足りません。安全で楽しい企画を行うために、少しでも興味があれば、お気軽に美術館(担当・清水)までご連絡ください！心よりお待ちしております。

タカビキッズが 始動！第1期の サポーター募集

毎週土曜日に開催される「タカビキッズあそぶ」のサポーター募集です。お申し込みは、鷹山美術館まで。お申し込みは、鷹山美術館まで。お申し込みは、鷹山美術館まで。

鷹山宇一記念美術館

○ 鷹山宇一記念美術館 長期休館のお知らせ

鷹山宇一記念美術館では、館内の設備整備のため、長期休館をいたします。皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

▽ 休館期間 平成28年1月28日～平成28年4月上旬まで。

▽ 平成28年度は春の特別展のオープンに合わせて開館いたします。

※ 2月27日(土)に予定されている「タカビキッズあそぶ」は開催いたします。

※ 休館中も職員は常駐しております。

○ 年末年始の開館について

本年も皆様方には大変お世話になりました。来年も「語り継がれる展覧会を。」というキャッチフレーズのもと、地域に愛される美術館活動を積極的に行っていきます。変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。年末年始の開館は以下のようになっております。ご来館をお待ちいたしております。

▽ 12月28日(月) 休館、29日(火) 通常開館

▽ 1月2日(土) 新年1月2日(土) 年末年始休館、3日(日) 開館、4日(月) 休館、5日 通常開館

第15回鷹山賞児童作品展
第151回地球環境世界児童画
コンテスト優秀作品展
はじまる！



11月15日(日)から第15回鷹山賞児童作品展/第151回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展を開催しております。今年の作品応募総数は479点と多くの応募がありました。10月2日・3日に、洋画家・二科会評議員の濱田進氏を今年もお招きして審査会が行われました。年々応募作品のレベルが上がり審査を悩

ませると言われていた中、入賞者33名・入選者47名の作品が選ばれました。美術の授業時間が減る中で、「先生方が創意工夫を凝らした表現をする事の楽しさを指導されたからだと思います。」この事が鷹山先生の望んでおられた事と確信致します。と濱田氏は総評されておりました。



11月14日(土)には、入賞者授賞式を執り行いました。会場には入賞者の作品を展示し、その中での授賞式でした。入賞者のご家族や学校の先生方も多く出席下さいました。授賞式の後にはロビーでレセプションパーティーを行いました。授賞式での緊張やかな雰囲気でした。



鷹山宇一先生誕祭
第16回『遊蝶記』
—画業85年—

毎年12月10日の鷹山宇一誕生記念日に行っておりますが、今年も13日(日)に開催致しました。この日は毎年無料開館となっております。今年も画業85年ということでいつもとは少し違うお誕生会となりました。パースデーケーキをいただきました。からの歓談。新谷理事長から今年を振り返つての挨拶があり、その後鷹山先生の孫、鷹山美緒さんによる献唱がありました。皆さん美しい歌声に聞き惚れて、来館されたお客様も美声に思わ



参加下さいました皆様有難うございました。来年もたくさんのご参加をお待ちしております。



のお楽しみとなり、皆さん大盛り上がりでした。最後は鷹山先生を中心に参加された皆さんと記念写真を取りました。

ず、2階に上がってきた方もおりました。その後は、ひばり館長から参加者へのプレゼントが。どんなプレゼントが当たるかはくじ引き

教育普及だより

連続企画!

「タカビキッズあそび」
実施中です!

毎月最終土曜日に実施している『タカビキッズあそび』。11月で5回目となりました。小学生くらいまでを対象として「はじめての美術館体験」をテーマに、毎回いろいろな遊びに遊んで発見したり気付いたりする企画です。今回は9月から11月までの活動を紹介します。

●9月27日実施●

「1時間耐久・全身使って」

ひたすらでかいイタズラ描き!

美術館2階工房を使用して実施。床と壁を使用済みポスターを使って全部覆い尽くしました!どこでも好きなところにイタズラ描きできる夢のような空間に大人も子どもも大興奮!!

はじめはひたすらでかい描く。これだけで紙がいろんなで埋まろう!

そして「一番大きな○」、「一番小さな○」など、色んな○を見つける時間。次に△、直線に矢印、☆も同様。そして最後は自由に描いてもらいました。みんなすごい集中力!△をすこいスピードで描くあまり、そこだけ三角に紙がやぶれてしまったほど!!あつという間に全面みんなの絵で埋まっちゃいました!!最後は好きなところを切り取ってお持ち帰り。一時間じゃ足りなかったかな?「もつと描きたい!」の声でいっぱいでした。

そして「一番大きな○」、「一番小さな○」など、色んな○を見つける時間。次に△、直線に矢印、☆も同様。そして最後は自由に描いてもらいました。みんなすごい集中力!△をすこいスピードで描くあまり、そこだけ三角に紙がやぶれてしまったほど!!あつという間に全面みんなの絵で埋まっちゃいました!!最後は好きなところを切り取ってお持ち帰り。一時間じゃ足りなかったかな?「もつと描きたい!」の声でいっぱいでした。



すごい勢い!!

サポーターさんに好きな所を切ってもらいます。



●10月24日実施●

「どてかい透明ビラミッドを遊びつくす!」

遊びつくす!

美術館前スペイン広場で実施。当日は嵐となりましたが、沢山の方に参加して頂きました!

ビニールシートを張り合わせて、一辺が10メートルほどの巨大なビラミッドを作成。扇風機で大きくふくふくさせて、中にスパーやコンビのビニール袋をくぐらせたものやペンを入れ、自由に遊んでもらいました。あまりの強風にビラミッドは途中で崩壊!それでも子どもたちはビラミッドに絵を描いたり、ビニールの壁をたたいて空気の弾力を感じたりと全力で楽しんでくれました!



嵐なんて気にしない!

●11月30日実施●

「タカビカイチュウデントウワールド」

美術館2階工房で実施。真っ暗にした部屋に蝋やおたま、色水の入ったペットボトルなど色々なモノを置き、懐中電灯やカナルフルに変化するライトなど様々な光源で遊んでもらいました。特に説明などはせず、自分で遊び方を考えてもらいました。困ってしまう子もいるのでは?と思いましたが、光でオブジェを作ったりライトで照らして絵を描いたり、陰で遊んだりとしっかり自分の遊び方を見つけていました。中には蝋でドラムセットを作って演奏する子も!自由な発想にいつも驚かされます。でも、やっぱり一時間では足りなかったみたいです。



オブジェ完成!
部屋が光であふれます。

美術館日誌

◇10月◇

2日(金)・3日(土) 鷹山賞審査(濱田先生来七) 7日(水)城南小学校出張講座(清水学芸員・穂積教育普及員) 8日(木)午前アトリー・太田様、午後佐々木様ご来館 エーデルワイス舞台鑑賞 9日(金)午前エーデルワイス椅子搬入 明の星講義(清水学芸員出張) 10日(土)3館連携バスツアー(清水学芸員出張) 11日(日)七彩会 12日(月)大萩康司コンサート 13日(火)・19日(月)展示替休館 14日(水)エーデルワイス椅子搬出 15日(木)10時生涯学習課来館 16日(金)城南小学校出張講座(清水学芸員・穂積教育普及員) 18日(日)七彩会 アトリー設置 19日(月)防火管理者講習申込み 20日(火)国際写真サロン展開催 21日(水)9・10時ナブコシステム保守点検 24日(土)タカビキッズあそぶ 29日(木)14時・16時ユトリエセミナー参加(成田事務員・織川教育補助員出張) 13時五所川原高校PTA様(団体14名) 31日(土)東北文化の日(2割引) 14時友の会(2F)



鷹山賞表彰形式の様子

◇11月◇

1日(日)東北文化の日(2割引) 5日(木)14時・北地区図工部会 8日(日)国際写真サロン終了 10日(火)・13日(金)展示替休館 12日(水)七戸中学校職場体験(終日) 14日(土)14時・鷹山賞授賞式 16時30分柏葉館演台返却 15日(日)鷹山賞開催初日 9時イース返却 17日(火)・18日(水)防火講習(青森・清水学芸員・成田事務員出張) 19日(木)教美展講評(青森・館長出張) 七戸小学校?・4年生来館 20日(金)10時40分・11時10分城北こども園来園 21日(土)タカビキッズ天間西小学校(清水学芸員) 25日(水)城南小学校来館 26日(木)道ノ上保育園WS(織川教育普及補助員) 28日(土)タカビキッズ 29日(日)12時30分若手県立美術館大野様来館(館長)

◇12月◇

1日(火)9時30分避難訓練 13時(株)佐々木様来館 2日(水)10時30分・11時10分城南小学校(1年生)14時15分・15時(2年生)来館 3日(木)13時30分わっち(ATV)来館打合せ(清水学芸員・織川普及及補助員) 4日(金)13時55分・14時40分七戸中学校職業体験発表(清水学芸員) 9日(水)14時15分・15時城南小学校(6年生)来館 13日(日)遊藝記 15日(火)午前中タカビキッズ七小準備(清水学芸員・穂積教育普及員) 9時昭和電気消防設備点検 14時八戸高専様来館(沢村先生) 公益法人説明会(県庁・成田事務員出張) 19日(土)タカビキッズ七戸小学校(清水学芸員) 20日(日)七彩会事務局・織川教育普及補助員出張) わっち(ATV)中継(館長・清水学芸員) 23日(水)タカビキッズ伊藤二子 25日(金)上北図工部会(六戸・清水学芸員出張) 30日(水)1月2日(土)年末休館



◆退職のご報告◆

教育普及員 穂積亜紀

6月からこの美術館で働かせて頂いておりましたが、この度、家庭の事情の為、12月を持ちまして退職する事となりました。一般企業とは異なる作業の多い職場に初めはとまどいましたが、スタッフをはじめ、多くの方々を支えられ励まされ、なんとか業務をこなして参りました。

この6ヶ月間で一番印象深いのは、働き始めてすぐの「県南レクシオン」展第3期「特集一多田瓊林」です。作品の集荷というとても貴重な体験をさせて頂く事が出来ました。そして、昭和という近代にこんな身近にこんなすばらしい日本画家がいたことに驚きました。開館準備時など作品を独り占めして鑑賞させて頂きました。

また、教育普及プログラム『タカビキッズあそぶ』に関われた事も本当に自分自身で体験し発見していく様子は、アトリーが生きていく上でも重要な役割を果たせる事を実感させるものでした。この活動を通じてご協力頂いたサポーター様や役場の方など、素敵な方々と出会えた事に感謝いたします。最後になりましたが、支えて下さった皆様、短い期間となりましたが、本心からありがとうございます。



兼六園で記念写真



金沢市 金城樓」にて

○第2回研修旅行に「ご参加頂いた会員からお寄せ頂いた写真を紹介します。



金箔貼り記念作品

盛岡てがみ館第48回企画展
宮沢賢治を愛した人々

盛岡にゆかりのある著名人やその関係者の手紙、原稿、日記、筆墨等の資料を収蔵・公開している「盛岡てがみ館」を展示内容に興味があったので12月初旬に初めて訪問した。てがみ館は、中津川河畔「プラザおでこ」6階に平成12年6月に開館した全国的にもユニークな施設で、当日は企画展「宮沢賢治を愛した人々」と特別展「竹久夢二の世界」を同時開催中だった。詩人・童話作家として数多くの名作を残している宮沢賢治だが、生前に刊行されたのは自費出版した心象スケッチ「春と修羅」、童話集「注文の多い料理店」の2冊だけで、全く無名に近い存在だった。その無名だった賢治作品の紹介に尽力した実弟・宮沢清六、詩人・草野心平、詩人&彫刻家・高村光太郎の手紙や葉書等の書簡を説明書きを頼りに丁寧に読んでくれた。草野心平と賢治は、生涯一度も会ったことはなく、二人の親交と信頼関係



左:プラザおでこで外観
右:若手銀行旧本店本館外観

保は、互いの作品を紙面で読み合い、手紙をやりとりすることによって築かれたというのを知り、心をこめて書かれた肉筆の手紙には何か不思議な力が宿るのかも知れないと思った。高村光太郎と賢治はというと、1926年(大正15年)上京した賢治がアトリエを訪問したときに玄關口で一度だけ会っているようだ。賢治の最大の理解者で賢治作品の紹介に生涯尽力した実弟・宮沢清六が93歳(1997年正月元旦日付)のときに東京都在住の方に宛てた「おけまして、おめでとう」といいます。おかげで賢治生誕百年の行事も大過なく終へ、今年も年賀状を上げられることを有難く存じます。中略、今後の皆々様の御多幸を心から祈って居ります。という内容の年賀状は、簡潔明快で温もりがあり、相手方に感謝の気持ちが素直に伝わる文章だった。同時開催中の特別展「竹久夢二の世界」は、夢二が表紙絵と作詞を手掛けた「セノオ楽譜」が中心だったが展示作品が少ないのは残念だった。見終わって「年賀状を上げられるこ



野の花美術館外観

○参考資料:盛岡てがみ館パンフレット&ホームページ、野の花美術館ホームページ、&ホームページその他

廣山宇一記念美術館友の会会員
照井壽一

とを有難く「という宮沢清六氏の言葉に背中を押し、今年も年賀状に添書きしようと思った。盛岡てがみ館を出て啄木と賢治の青春時代と盛岡の街を紹介している「もりおか啄木・賢治青春館」を訪ねたが、2階展示ホールは、新渡戸稲造「武士道精神を学ぶ」と題した講演会が開催されていたため残念ながら見学出来なかった。昼食は、せつなく盛岡で遊ぶのだからと思いき、そば処・東屋中ノ橋本店で給仕付きの「わんこそば」を楽しんだ後、深沢紅子野の花美術館に向かった。野の花美術館は「競わず、所を得て咲く美しく優しい野の花の姿に、その範を求めて、生涯を歩んだ盛岡市出身の女流画家・深沢紅子の作品を展示顕彰する美術館で、当日は第IV期企画展「紅子・省三挿絵の原画展」が開催中だった。雑誌・赤い鳥やキンダーブックに掲載された挿絵や野の花の絵を時間に押されたながら鑑賞。同名の美術館が長野県に遊ぶ機会があったならば是非訪問したい。

『静謐のレンゾデトル』
鷹山宇一画集

七戸町立鷹山宇一記念美術館
開館二十周年事業として、新たに
発見・収集した作品・論文等を
加えて編集し直した画集『静謐の
レンゾデトル』(鷹山宇一の世
界)(平成26年12月発行)を左記
のとおり有料頒布しております。
平成26年度女の会会員には二
十周年記念事業としてお届けし
ていますが、会員以外の方々にも
ご紹介頂きますようご案内いた
します。

- ・販売価格
一冊 2,000円＋消費税
- ・送料 実費
- ・申込先
鷹山宇一記念美術館



「会報合本Ⅱ」
発売中!!

★友の会では、設立二十周
年記念事業として第38号
から77号までを一冊に合
本、有料頒布しています。
平成17年からの10年間を
たどる貴重な資料としてみ
是非ともご購入をお願い
致します。

- ・合本一冊 一〇〇〇円
- ・送料 二〇〇円
- ・申込先
鷹山宇一記念美術館



☆皆様の会報です。
友の会主催の研修旅行、
研修旅行等へのご意見、ご
要望、旅行記等をお寄せ下
さい。

字数:800字程度)

☆お便りをお待ちしています。

新規会員入会お誘いのお願いと
友の会会員登録更新のお願い

平成27年も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理
解とご協力をいただきました。誠に有り難う御座います。
新年も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員
の皆様にご協力いただける研修旅行、講演会等を企画し
微力ながら地域文化の発展に寄与して頂く所存ござい
ます。なお、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と
同封の郵便振替により随時行っておりますので、会員各位
の特段のお力添えをお願い致します。

○友の会の事業内容

- ①海外美術館視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館購入基金への協力
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力

○一般会員

- ①無料入会費 3千円
- ②入館料2割引
- ③年会費 3千円
- ④年会費提示により
- ⑤入館料2割引
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○特別会員

- ①個人(法人) 年会費 1万円
- ②個人(法人) 年会費 1万円
- ③個人(法人) 年会費 1万円
- ④個人(法人) 年会費 1万円
- ⑤個人(法人) 年会費 1万円
- ⑥個人(法人) 年会費 1万円

○賛助会員

- ①個人(法人) 年会費 2万円
- ②個人(法人) 年会費 2万円
- ③個人(法人) 年会費 2万円
- ④個人(法人) 年会費 2万円
- ⑤個人(法人) 年会費 2万円
- ⑥個人(法人) 年会費 2万円

○特別会費

- ①個人(法人) 年会費 2万円
- ②個人(法人) 年会費 2万円
- ③個人(法人) 年会費 2万円
- ④個人(法人) 年会費 2万円
- ⑤個人(法人) 年会費 2万円
- ⑥個人(法人) 年会費 2万円

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★新規会員の会費
について

会費の納入は随
時受け付けてお
りますが、28年3月31
日迄の間に新規会
員となった方は平成
29年3月31日まで
の会費となります。
ご入会のお誘い
宜しくお願ひ申し
上げます。

編集後記

本年も会報作成
にあたり皆様から
頂きましたご指導
とご協力を深く感
謝申し上げます。
有り難う御座い
ました。

★会報第81号をお
届け致します。
2016年、会
員皆様方の健康
とご多幸を心から
お祈り申し上げます。

(照井壽一)